



# Primer Set BFS-1&2

(ボツリヌス F 型毒素遺伝子検出用)

Code No. S026      容量：1,000 pmol each  
濃度：      19 pmol/ $\mu$ l

添付試薬：  
10 × PCR Buffer      600  $\mu$ l

ウェブサイトに掲載している bacteria\_primer\_set の参考資料もあわせてご確認ください。

- 検出遺伝子      ボツリヌス F 型毒素遺伝子
- 増幅産物      332 bp
- 形状      滅菌水溶液
- 保存      - 20°C
- 使用例

## 1. 反応液組成

|                              |               |
|------------------------------|---------------|
| TaKaRa Taq (5 U/ $\mu$ l)    | 0.25 $\mu$ l  |
| 10 × PCR buffer*1            | 5 $\mu$ l     |
| dNTP Mixture*2 (2.5 mM each) | 4 $\mu$ l     |
| Template DNA*3               | 5 $\mu$ l     |
| Primer BFS-1                 | 0.5 $\mu$ l   |
| Primer BFS-2                 | 0.5 $\mu$ l   |
| 滅菌精製水                        | 34.75 $\mu$ l |
| Total                        | 50 $\mu$ l    |

(反応液は氷冷下で調製する)

\*1: 本 Primer Set に添付している。

\*2: TaKaRa Taq (製品コード R001A) に添付している。

\*3: 精製 DNA または熱抽出サンプルを使用。なお、熱抽出サンプルは、菌体をクックドミート培地中で 30 ~ 37°C 一晚培養した培養液 10  $\mu$ l に、滅菌水 90  $\mu$ l を加え、95°C、5 分間加熱後、遠心分離により菌体の残渣を除いた上清液を使用する。さらに感度が要求される場合は、同培養液 1 ml を遠心 (5,000 rpm、5 分間) 後上清を除き、菌体を 100  $\mu$ l の滅菌水に懸濁する。これを 95°C、5 分間加熱後、遠心分離により残渣を除いた上清を使用する。

## 2. PCR 条件

|      |        |             |
|------|--------|-------------|
| 94°C | 1 min. | } 35 cycles |
| 55°C | 1 min. |             |
| 72°C | 1 min. |             |

## ●使用に際して

- ・本キットは遺伝子検出であるため、不活化された細菌も検出し、生菌のみを検出対象とするものではありません。また、設計した Primer の配列内に遺伝子の変異や欠損/挿入が生じた際には、検出できない場合があります。(検査結果判定により発生する問題に関して、タカラバイオ株式会社は一切の責任を負いません。)
- ・判定の確定には、遺伝子検査だけでなく、培養検査などの結果も併用の上、ご判断ください。

## ●参考文献

Huston, et al. *FEMS Microbiology Letters*. (1993) **108**: 103-110.

## ●注意

本製品は食品分析および環境分析用として販売しております。ヒト、動物への医療、臨床診断用には使用しないようご注意ください。また、食品、化粧品、家庭用品等として使用しないでください。タカラバイオの承認を得ずに製品の再販・譲渡、再販・譲渡のための改変、商用製品の製造に使用することは禁止されています。ライセンスに関する情報は弊社ウェブカタログをご覧ください。本データシートに記載されている会社名および商品名などは、各社の商号、または登録済みもしくは未登録の商標であり、これらは各所有者に帰属します。

v201812Da